第4次日高市男女共同参画プラン 成果指標に関する質疑応答等

プラン名	基本目標	成果指標名	質問者	ご意見等	担当課	回答
第4次日高市男女共同参画プラン	①	人権講演会等への参加者数	平沼委員	H32年度の目標値に対して実績値が高いのは評価できるが、個人的には、チラシを見て参加意欲が半減してしまうことがある。チラシの見出しなどの工夫を研究して、更に実績値を伸ばしてほしい。	生涯学習課 総務課	【生涯学習課】 他の講演会のチラシ等参考に、工夫して作成していきたいと思います。
	②	地域密着型サービス事業者数	平沼委員	地域密着サービスについては、第1号被保険者の介護保険料に重圧が掛かることから、単に実績値を伸ばせばよいというものではないと考える。実態に照らして必要数量の確認を密に願いたい。	長寿いきがい課	介護保険法に基づき、3年ごとに介護保険事業計画を策定することになっております。介護保険事業計画において、高齢者数、要介護・要支援認定者数、サービス利用状況等を実績に基づいて推計し、介護保険料を算定しております。地域密着型サービス事業者数は、サービス利用見込量から必要とされる事業者数を算定しております。
	②	認知症カフェ設置数	桑原委員	目標値3か所に対して、5か所の設置であり、大変に喜ばしいことです。核家族による1人世帯の多い社会であり、気楽に話せる場所の提供はとても大切だと考えます。まして高齢者の方はカフェに行くまでの移動手段が問題です。目標値を増やして更なる利便性を考えていただきたい。	長寿いきがい課	市内3か所の地域包括支援センターが実施しておりますので、実施方法等の研究を行いながら、設置場所の増加について検討を行ってまいります。
	②	認知症カフェ設置数	平沼委員	法律(?)で定められているので、仕方ないのかもしれないが、ネーミングが引っかかる。実際には、実績値よりも地域の中で自然に実施されている場所もあるのではないかとと思う。確認できた場所の個数を実績値として表示することができないか。	長寿いきがい課	実際のカフェのネーミングについては、協力団体等と検討を行って決めていただいておりますが、公式には認知症カフェとなります。前述のとおり、地域包括支援センター等が一定の基準で実施しているものを市では認知症カフェとしておりますが、地域の中で行われているものについても把握に努めてまいりたいと考えております。
	②	地域子育て支援センターの利用者数	平沼委員	毎年実績値を伸ばしている事は評価できる。委託先とセンター開室について、再度確認を行い、開館日数、時間などについて、検討していったらどうか。	子育て応援課	委託先が設定する開設時間には、同法人が運営する子育て施設の種別による特色があります。今後地域の子育て支援拠点として、子育て親子が利用しやすい時間設定等について調整していきます。
	③	日高市DV対策連携会議の開催(DV対策関係)	横手(幸)委員	ケースが少なく又は無くて会議開催数が減していると思いますが、定期的で開催する方が良いと考えます。	子育て応援課	毎年度1回開催し情報連携と支援の依頼を行い、DV支援の共通認識を図っています。
	③	日高市DV対策連携会議の開催(DV対策関係)	平沼委員	DV対象者に関する検討会議を実績値に計上することはできないか。	子育て応援課	検討を要するケースについては、緊急対応が必要なため検討会議を開催する時間がないことから、庁内メール等により情報共有と支援依頼を行っています。実績の数値化については、情報共有と支援依頼を行った件数を計上することができます。
		<成果指標全体>	大川戸委員	H29年度実績値が前年度実績値より上がっていることは、喜ばしいことと思います。また、H32年度目標値も適正と思います。目標達成を願います。	総務課	実績値につきまして評価いただきありがとうございます。H32年度の目標値について、各項目において達成できるよう努めてまいります。
	①	人権講演会等への参加者数	平沼委員	H32年度の目標値に対して実績値が高いのは評価できるが、個人的には、チラシを見て参加意欲が半減してしまうことがある。チラシの見出しなどの工夫を研究して、更に実績値を伸ばしてほしい。	生涯学習課 総務課	【総務課】 頂いたご意見を参考にさせていただきまして、講演会等への参加意欲を高められるよう、案内チラシの見出し等の工夫を研究してまいります。
	②	日本語教室参加者数(年間延べ人数)	横手(幸)委員	目標値に対しH29年度実績値が少ないようだが、評価がAとなっている。数だけではなくと思いますが、評価Aの考え方は?	総務課	目標値設定は、H26年度現状値を基準としています。日本語教室の受講生は、定住している外国籍の方より企業等への技術研修生が多く、これらの技術研修生の受け入れ状況により年度ごとに成果値が異なります。H26年度は、他市にある企業からの研修生が多く日高市の日本語教室に参加していましたが、限られた交通手段で日高市内の日本語教室に通うことが難しいため、今は、市国際交流協会の会員が研修生の元へ出向き、日本語を教えるなど柔軟な対応をしています。このような場合は、実績値に含まれておりません。
			平井委員	減少した要因と目標値設定基準について知りたいです。ニーズをとらえているのか?		日本語の研修を必要とする外国籍の方がどの程度お住まいなのか、働いている人数の変化等は、把握しておりませんが、日本語教室の周知方法については、市広報への掲載、チラシを市内公共施設に置くだけでなく、国際交流協会のニュースレターに掲載し近隣市の国際交流協会にも送付しております。
			平沼委員	参加したくても、家庭状況などにより参加できない市民もいるのではないかと。今後は、他の関係機関と連携を図り実績値を伸ばす方法を検討したらどうか。		また、市内の日本語教室は開催曜日が決まっているため、日本語を学習したい方の希望に合わない場合は、近隣市の国際交流協会での日本語教室を紹介するなど、対応しています。ご意見をいただきましたように、引き続き、近隣市の国際交流協会や市内企業と連携を図ってまいりたいと考えます。
		前嶋委員	日本語の研修を必要とする外国人が日高市内にどの程度住んでいるのか、あるいは、働いている数のH26年度からH29年度までに変化があるのか知りたいです。			